

令和4年度PDCAサイクル(呼吸ケアサポートチーム【RST】)



P

計画

I. RSTチームの目的

- 一般病棟において人工呼吸器管理を行っている呼吸不全患者に対し、人工呼吸器の使用上のケア・呼吸リハビリテーションを含む事務についてアドバイス及びサポートを行う。
- 人工呼吸器の早期離脱を目指し、医療の質の向上を図る。

II. 対象患者

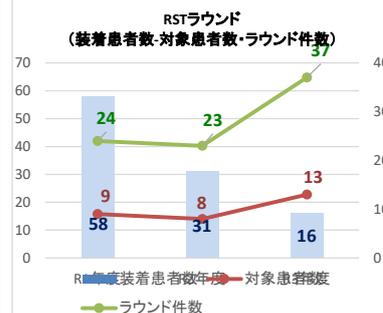
人工呼吸器装着が48時間以上でその期間が1カ月以内の呼吸ケアチーム加算取得可能な一般病棟に入院している患者（ICU・CCU・HCU・小児科病棟を除く）

III. 問題点

新病院移転に伴い一般病棟における人工呼吸器使用患者（RSTチーム介入患者）は、重症・集中部門増床により明らかに減少することが考えられる。そのため、重症・集中部門での人工呼吸器離脱困難な患者（DNAR対象含む）の増加が考えられる。そのため、長期人工呼吸器装着患者で離脱可能または転院調整可能な患者への介入が必要と思われる。

IV. 行動計画

- RSTラウンド実施率100%（加算対象者）と離脱率
- 集中治療室へのラウンド実施率（早期からサポートの開始）
- V60など非侵襲的陽圧換気使用中患者へのラウンドの実施



RSTラウンド
(装着患者数・対象患者数・ラウンド件数)

項目	令和3年度	令和4年度
装着患者数	24	23
対象患者数	9	8
ラウンド件数	58	31

令和3年度集中治療室使用患者

	長期挿管	ラウンド実施率	非挿管	ラウンド実施率
HCU	6名	100%	10名	30%
ICU-CCU	13名	0%	32名	0%



D

実行

①RSTのラウンド実施率100%（加算対象者）と離脱率

- 人工呼吸器装着中の患者に対し早期離脱に向け、週1回ラウンドを確実に実施する。長期化する場合は、主治医や病棟看護師と連携を図りながらラウンドを継続する。

②集中治療室へのラウンド実施率（早期からサポートの開始）

- 人工呼吸器離脱および転院に向けての指導&フォロー
 - 呼吸器内科受診していただき連日フォローできる体制の構築
- 早期からのリハビリの開始（関節可動域訓練・呼吸筋疲労の予防・早期離床の目的）
 - 早期リハ導入の推進と人工呼吸器関連肺炎の予防

③V60など非侵襲的陽圧換気使用中患者へのラウンドの実施

- 非侵襲的陽圧換気実施中患者をラウンドすることで、早期から医療の安全を目指した指導・看護に努める。重症化することなく非侵襲的陽圧換気からの離脱を目標とする。

ラウンド件数内訳

加算対象者	加算対象外	合計
2件	27件	29件

挿管患者数	非挿管患者数
8名	4名

診療科別 ラウンド件数

救急部	3
呼吸器内科	4
脳神経外科	8
脳神経内科	5
循環器内科	1
心臓血管外科	5
耳鼻咽喉科	1
消化器内科	1



C

評価

①RSTラウンド実施率100%（加算対象者）と離脱率

- 人工呼吸管理が集中治療室で行われているため、退室後の患者のみが対象となり2名の患者に対して100%実施することができた。
- 1名は一旦離脱可能であった。ただし、3週間後に再挿管となり抜管困難であったため人工呼吸器の機種変更おこない転院となった。

②集中治療室へのラウンド実施率

- リハビリに関しては早期から介入できている。また、重症患者に対して呼吸器内科への紹介はされているが、チームとしてすべての患者には介入は出来なかった。
- ラウンド行った患者に対しては、離脱または転院に向けたフォローおよび指導ができた。

③V60など非侵襲的陽圧換気使用中患者へのラウンドの実施

- 本年度はネーザルハイフロー使用患者が多く、11月以降呼吸器内科、消化器内科の患者に対しラウンドを開始し、重症化することなく離脱可能であった。

令和4年度 RSTラウンド内訳 (令和4年4月～令和5年3月)

	加算対象患者数	ラウンド患者数
対象患者数	2名	13名
離脱患者数	1名	4名
人工呼吸器離脱率	50%	30.8%
2週間以内離脱率	0.0%	46.2%
ラウンド数	2件	29件
平均装着日数	31日	46日

転院患者数 (令和4年4月～令和5年3月)

ラウンド対象患者数	13名
転院患者数	5名



A

改善

①RSTラウンド実施率100%（加算対象者）と加算対象外の患者のラウンド実施

- 一般病棟における加算対象者へのラウンド実施100%継続
- 医療安全の観点からも、一般病棟にて安全な呼吸器管理の目的のもと、加算対象外患者にも積極的に実施を継続する

②集中治療室へのラウンド実施率

- リハビリに関しては早期の早期介入
- HCUにおけるラウンドの実施…人工呼吸器やネーザルハイフロー使用患者のラウンドを実施し集中部門での安全管理につなげる

③V60など非侵襲的陽圧換気使用中患者への積極的なラウンドの実施

- ネーザルハイフロー使用患者の増加に伴い、一般病棟の使用時にラウンドを実施することで安全な療養環境の提供と早期からのリハビリの介入や安全な気合い管理を目指す。